



左官技能士



**「コテ」という道具などを使って
建物の壁・床・塀などを均一に美しく塗り仕上げ
快適な生活空間を創造する!**

左官技能士とは、建築物の仕上げの工程で、内壁・外壁や床・塀などをコテという特殊な道具を使い土やモルタルを、均一な表面仕上げで塗っていく仕事です。

左官の歴史は古く飛鳥・天平時代に中国から仏教伝来と共に伝わった技能で、奈良時代には律令制度により建築仕事を司る木工寮の属(さかん)という役職の壁塗り職人をしていたことから左官という当て字になり、古くは「沙官」「沙翫」と表記されていました。現代では鉄筋コンクリート仕上げやブロック積・レンガ積・タイル張りなどの作業が主流になっていますが、その仕上りは耐久性・居住性・快適性に優れ、美しい仕上がりは装飾性も高めます。

近年では消費者の健康志向が高まり、天然素材を使った土壁や漆喰壁、珪藻土壁も見直されています。



製品紹介



伝統的な左官施工



▼ 下地工法

竹などを用いて格子状に編んで組上げ表面に壁塗りで仕上げる。



▼ コテ

壁塗りに使用される道具で、壁全体を塗りつけるコテから各工程や部分仕上げのコテなど、数十種類のコテがある。



▼ 壁土材料

粘土質の土に石灰・貝灰を混ぜた結合材やセメント・石こうを使った混合材など、仕上げや用途に合わせた材料。



▼ 土壁工法

下地に壁土で荒壁から中塗りまで施工し、色土・色砂を結合し上塗りする土物壁。



▼ 漆喰塗り

石灰・砂・糊などを主材料とした内外壁を塗りつける天然素材の工法。(漆喰彫刻)



有限会社 安部組
代表取締役

安部 一夫 さん

- (一社)日本左官業組合連合会・理事
- 日左連四国ブロック会・会長
- 香川県左官業組合連合会・会長

左官業界の発展と人材育成に取り組んでいます。



左官業界の次代を担う若い技能士を中心に、技能検定取得に組合一丸となって取り組んでいます。技能検定の課題は、左官業の伝統でもあり基本となる部分でもあるため、基礎となる知識や技能の習得に役立ちます。左官業界の新たな発展と活性化を実現するために様々な活動を行っています。